

河口堰に大量のゴミが漂着！！

～昨日(6月28日)の大雨で
遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着きました～



河口堰上流のゴミ漂着状況(6/29 8:30撮影)



漂着ゴミの近景(6/29 8:30撮影)

6月28日の大雨によって、遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着きました。

29日9:00現在のゴミの量は推定で約1,000m³の見込みです。
(小学校のプール(25m×10m×1m)の約4杯分)

現在も河川の流量は多く、今後の雨も予想されるため、ゴミの量は更に増加する見込みです。

ゴミは河川環境の悪化、河口堰ゲートへの損傷、及び河口～海岸への流出の恐れがあるため迅速に撤去する予定ですが、現時点では川の流れが速く危険なため、流量が減少し、安全性が確保でき次第撤去作業に着手予定です。

現在のゴミの量であれば、撤去作業は着手後1～2週間程度かかる予定です。

ゴミの多くは、草木類です。その他ペットボトル、発砲スチロール等の生活ゴミ、タイヤなど様々な種類のゴミが混在しています。

遠賀川はみんなの川です。その水は多くの方々の飲み水としても利用されています。

また、遠賀川流域ではゴミの撤去・処分に毎年多くの経費を費やしています。今後も流域の関係機関や住民団体等と連携し、ゴミ問題に取り組んでいく考えです。

【この記者発表に関する問い合わせ先】

国土交通省 遠賀川河川事務所 管理課 TEL 0949-22-1830
課長 篠原 昌秀 係長 松本 秀一
国土交通省 遠賀川河川事務所 河口堰管理支所 TEL 093-201-1675
支所長 高野 誠二 係長 深浦 貴之

～ 発表先 ～

●直方地区

●田川地区

●飯塚地区

●北九州地区

(参考資料)

○近年のゴミ回収量

遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる九州最大（長さ517m）の可動堰です。遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、近年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりで、処理費用は年間約2千万円程度です。

年	ゴミの量
平成11年度	2,700 m ³
平成12年度	1,200 m ³
平成13年度	900 m ³ （堰全開操作有り）
平成14年度	800 m ³
平成15年度	2,600 m ³ （堰全開操作有り）
平成16年度	3,200 m ³
平成17年度	600 m ³
平成18年度	3,400 m ³
平成19年度	1,340 m ³
平成20年度	2,300 m ³
平成21年度	2,800 m ³ （堰全開操作有り）

*河口堰のゲート操作は、ゴミを下流に流出しないように細心の注意を払いながら操作していますが、平成13年度、平成15年度、平成21年度には非常に大きな洪水があり、安全のためゲートを全開しなければなりません。したがって実際に漂着したゴミの量は、上表の回収量より多かったと推定しています。堰下流から海の方へ流出したゴミは、海岸や漁港へ漂着して問題となりました。

※ゴミ回収イメージ（平成21年7月1日出水による塵芥処理状況）



岸の方へ引き寄せた後は、バックホウで掴み取り、山積みにした後に分別作業を行います。

